

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L103	都市問題入門Ⅱ	1年	講義	2	西山弘泰
<p>授業概要</p> <p>都市は人間がより豊かな生活を求めて造られた英知の結晶である。しかし、それは望ましいものばかりではなく、時として人びとの生活に思わぬ不利益を生じさせることもある。都市問題入門Ⅱでは、都市問題入門Ⅰで学んだ都市の歴史や現状の裏側で、どのような問題を抱え、それを克服するために人びとがどのような工夫や努力を繰り返してきたかを概観する。都市問題入門Ⅰと同様、本講義では教員からの一方的な講義ではなく、対話形式になるよう配慮する。また、写真や図表、地図などを多く用いるが、その読解も必要に応じて受講生に行ってもらう。</p>					
<p>到達目標(学習の成果)</p> <p>都市問題やその解決方法を学ぶことで、私たちが住みよい都市にしていけるためにはどうすればよいのか、私たち一人ひとりは何をすればよいかを考えられるようになってほしい。</p>					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	都市問題とは何か	都市問題にはどのようなものがあるかを分類し、都市問題の全体像をつかむ			
2	工業化と都市問題	産業革命後のイギリス・ロンドンと東京の都市問題とその対策について学ぶ			
3	都市の災害と防災	発生の可能性が指摘されている東京直下型大地震の被害予測とその対策について学ぶ			
4	都市の拡大とスプロール	急激な人口増加と都市化がもたらす地域への悪影響について学ぶ			
5	都市の過密化	戦後東京一極集中による弊害とそれを緩和するための政策について学ぶ			
6	都市と住宅	戦後日本の都市地域における住宅問題とその対策について学ぶ			
7	都市と公害	公害問題を克服しその経験を生かしてまちづくりを行う北九州市の取り組みについて学ぶ			
8	都市気候	ヒートアイランド現象や集中豪雨の発生メカニズムや人びとの生活への影響、そしてその対策について学ぶ			
9	都市のエスニシティ	都市に住む外国人の生活や課題、多文化共生の取り組みについて、群馬県太田市と東京都新宿区を事例に学ぶ			
10	中心市街地の衰退と活性化	都市の中心市街地の衰退がもたらす都市全体への影響と活性化の必要性について知る。			
11	郊外住宅地の高齢化	大都市圏郊外住宅地における高齢化のメカニズムと現状について学ぶ			
12	都市の空き家問題	近年社会的関心が高まっている空き家の発生要因やその対策について学ぶ			
13	発展途上国における都市化	モンゴルのマンホールチルドレンとブラジルのファベールを事例に、発展途上国における都市の人口増加の問題的について考える			
14	中国・韓国の都市問題	中国・韓国の都市問題について国の体制や経済システムから考察する			
15	まとめ	14回の講義の中で特に重要と思われる事柄に関して復習を行う			

準備学修(授業外の自己学修)

復習課題や予習課題を準備するので受講生は必ず取り組むこと

成績評価の方法・基準(%表記)

毎回授業中に行うワークシートの取り組み状況(50%)と期末試験(50%)によって判断する

観点	S	A	B	C
21世紀型の都市問題とその解決方法についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定程度理解している
統計や地図、写真等を通して都市の特徴を読み取る能力	完全に読み取ることができる	ほぼ完全に読み取ることができる	十分に読み取ることができる	一定程度読み取ることができる

教科書

なし。

参考書等

藤井正・神谷浩夫編著(2014)『よくわかる都市地理学』. ミネルヴァ書房

藤塚吉浩・高柳長直編(2016)『図説 日本の都市問題』. 古今書院

履修上の注意・学修支援

都市問題入門Ⅰ・Ⅱ双方を履修することが望ましい。また都市問題入門Ⅰ⇒Ⅱの順番で履修することを勧める。

本講義は講義形式ではあるが、学生には主体的な参加を期待したい。授業中に学生に対してできるだけ問いかけを行うよう努める。逆に学生に対しては感じたこと、疑問に思ったことがあれば講義中であっても発言を許可したい。